

町政一般質問通告一覧表

令和3年9月定例会

令和3年9月28日

番号	質問事項 (質問件名)	質問の要旨	質問の相手	議席番号 氏名
1	きめ細かな行政サービスの提供Ⅱ	1. 学力向上の取り組みについて (1) 長崎県学力調査、全国学力テストの結果が公表されました。どう評価されているのか。 (2) GIGAスクール構想は、一人1台のノートパソコン配備がなされましたが、今後何年間かけて何をどのように計画的に進めていかれるのか。	教育長	9番 須藤 敏規 (一問一答)
		2. 財政の健全化について (1) 行政サービスの多様化等で増大した業務量は、事務分掌となっている業務とそれ以外の業務の明確化はどれくらい把握されているのか。事務分掌を改定し明確化すべきでないか。 (2) さまざまな補助金等は、意義、目的、実績等を検証し予算化されていると思いますが、維持費、事業費に分けて、事業費は返納を求める仕組みとしてはどうか。 (3) 財政の健全化は、具体的にどのように取り組むのか。	町長 教育長	
2	1. 町内循環バス(仮称)の実現に向けて	①町内交通の基本的考え方について、町内循環バスに変わる対案・構想を示されたい。構想も示されなくて、いきなり出されても議論できません。 ②現在町民から求められている町内交通は、全ての町民を対象とした移動手段の確保、緊急時の町民移送手段の確保、子ども達の安全な登下校の確保、高齢者をはじめ健康者を含む買い物支援など多岐にわたる。これらの声にどう応えていくのか質問します。	町長	4番 永田 勝美 (一問一答)
	2. 新型コロナ対策について	①町内ではすでに50人を超える感染者があります。これらの方々への町の支援はどうなっていますか。療養中の方々への支援、後遺症のあるの方々への支援などについて質問します。ワクチン接種の促進・PCR検査の拡充に向けた今後の取り組みについて。また、健康相談センターをはじめとした支援体制の拡充について質問します。 ②失業・収入減少などに伴う生活支援の取り組みについて		
	3. 災害対策について	①今年の災害の状況について。町道の「通行止め解除」の見通し。今後の改善策など ②避難所へのエアコン設置について。交流センターのエアコンはいつまでにつけるのですか。質問します。 ③ため池防災の取り組みについて。現状の課題と今後の取り組みの計画等について質問します。		
	4. 暮らし・福祉の充実に向けて	①国民健康保険制度の改善について、子どもの均等割廃止は520万円のできるのにどうして実施しないのですか。そもそも高すぎる国保税を引き下げる取り組みはどう進めるのですか。 ②「生理の貧困」が社会問題となっています。小中学校のトイレに生理用品を設置できませんか。 ③医療ケア児の対応など町立保育所の必要性が高まっています。公立保育所の拡充について質問します。また、次年度の保育料無償化の取り組みについて質問します。		

番号	質問事項(質問件名)	質問の要旨	質問の相手	議席番号(氏名)
3	通学路の安全について	<p>全国で通学路での児童の交通事故が多発している。ガードレールの設置・歩道の拡張などが最も効果的な対策だと思われるが、費用面や、設置条件面など考慮すると時間がかかる。</p> <p>命にかかわる問題であり、早急な対策が求められる。危険箇所をリストアップし、車の速度を強制的かつ物理的に落とすことが必要であり、</p> <p>①ハンプ(速度を落とすためのなだらかなコブ) ②イメージハンプ(物理的な凹凸をつけず視覚効果によって立体的に見せる) ③薄くなったグリーンラインの引き直し ④ドライバーに対する注意喚起の看板など道路自体の整備が急務である。</p> <p>道路構造の抜本的改善を含めた早急な対策が求められるが佐々町の具体的な取組み及び施策は。</p>	町教育長	2番 川副剛 (一問一答)
4	公共施設のWeb予約について	<p>公共施設を利用するにあたって、現在は公民館窓口に向き予約をする状況にあります。昨今のスマートフォン、パソコンの利用状況を考えると、Web予約でのシステムがあっけしがるべきだと考えていますが、町としての見解を伺いたいと思います。</p>	町教育長	3番 横田博茂 (一問一答)
5	農業振興について	<p>○今佐々町では、スマート農業推進協議会を立ち上げ、活動をなされております。無人田植え機・ヘリによる薬剤散布・無人草刈り機の実演など行われていますが、佐々町としてどこまでかわかり、推進されるのか。また水稲で農家の方が辛い作業は農薬散布だと思います。今農薬散布についてはドローンによる作業が行われていますが、佐々町の業者ではありません。そこで、佐々町全体を考えドローンを導入したり、ドローンの業者を育成する考えはありますか。農業従事者の高齢化が進む状況の中、作業の省力化を考えることも必要だと思う。</p> <p>○農業従事者については高齢化が進み、農作業の簡素化に努めなければいけない状況になりつつあります。高齢者のための圃場の整備、用水路の整備など、安全で作業ができるよう考えていかなければならないと思います。例えば平坦地の圃場、畔草刈りは、年4回ぐらいは刈ります。それをコンクリート舗装すれば、だいぶ楽になりますし、管理もしやすくなります。そういった地域にあった、そして高齢者に配慮した整備が必要ではないか。</p>	町長	8番 橋本義雄 (一問一答)
	地域づくりについて	<p>○地域全体の高齢化が進む中で、町内会の役員の担い手不足や、地域において活動すべき若者の減少が目立ちます。地域のリーダーや地域づくりの担い手を育成することが今後の地域維持には必要不可欠だと思います。そこで町長にお尋ねいたします。地域づくりについてどのように考えておられるのかお聞かせください。</p>		
	町内会加入促進について	<p>○町内会の世帯数、人口は、増えているところがありますが、町内会に加入されない方も増えています。役場としてどういう推進をしておられるのか。町内会長は、新しい家やアパートが建ったら加入促進に回っておられます。役場は、建築されたアパートなどの業者に、推進の為、回ったことがありますか。</p>		